

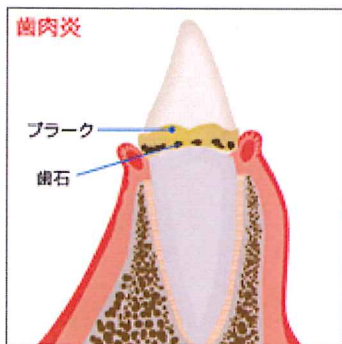
歯周病のお話し

■歯周病ってどんな病気？

歯周病は痛みなどの症状もなく進行していくので「沈黙の病気」といわれています。また、多くの成人がかかっている社会的な病気であり、小中学生など若年層にまで広がってきています。

また最近では、歯周病が喫煙や食事などの生活習慣や全身の病気と関連していることがわかってきています。つまり歯周病は口の中だけの病気ではなく、全身の健康と強くかかわりのある病気なのです。

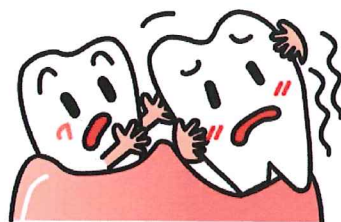
■歯周病は症状によって「歯肉炎」と「歯周炎」に分けられます。



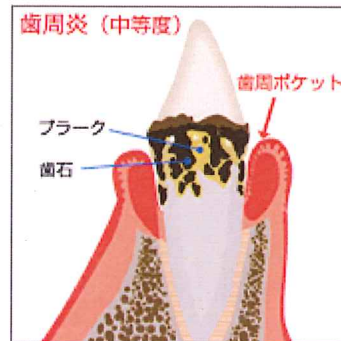
☆歯肉炎

歯周病の中でも、炎症が歯肉に限られている状態を歯肉炎といいます。歯周病の原因は、歯と歯肉の境目に付着したプラーク（歯垢）です。健康な歯肉でも、歯と歯肉の境目には歯肉溝と呼ばれる浅い溝（0.5～2mm）がありプラークが溜まりやすくなっています。歯肉溝にプラークがたまったま

まになっていると、歯肉に炎症が起こります。歯肉が赤くなる、歯肉から出血するなどの症状がみられますが、歯肉骨や歯根膜は破壊されていません。このような状態を歯肉炎とい



います。この歯肉炎の段階ならば、原因となっているプラークや歯石を取り除くことで、もとの健康な状態にもどすことができます。



☆歯周炎

歯肉炎を放置すると、炎症が広がり歯根膜を破壊していきます。すると歯周ポケットが形成され、そこにたまったプラーク中で歯周病細菌が繁殖していきます。症状が進行し歯周骨が破壊されると、歯肉から血や膿がでるようになってしまいます。このような状態を歯周炎といいます。

歯周炎まで進行した場合、歯科医院での治療が必用であり重症になるほど治療・回復に時間がかかります。

■歯周病になると

歯肉炎	歯ぐきが赤くはれ、歯磨きなどちょっとした刺激で出血しやすくなります。
軽度歯周炎	歯ぐきの炎症が進み、歯周ポケットができる。歯槽骨が溶け始め、水などがしみるようになる。
中等度歯周炎	歯ぐきがブヨブヨにはれ、膿がでたり、口臭がひどくなる。歯槽骨の破壊が進み、歯が浮いた感じになる。
重度歯周炎	歯槽骨がほとんどなくなり、歯根が露出する。歯ぐきがはれて痛み、歯がグラグラになり、最後は抜け落ちてしまいます。

医療法人メディカルフォース

フォース歯科

〒007-0813

札幌市東区東苗穂 13 条 1 丁目 2-1

フリーダイヤル：0120-130-554

<http://www2.snowman.ne.jp>

■診療時間■

月～金曜日 10:00～19:00

土曜日（第 1,3,5） 10:00～16:00

休診日：土曜日（第 2,4）・日曜日・祝祭日